

## 特別編 社会貢献特集

今回の非常食情報は、特別編として過去に掲載したマンガと新作マンガを1本掲載いたします。

今回は「社会貢献特集」!

被災地の助けになりたくても、むやみに現地に行ったり物を送りつけるとかえって迷惑になることもあります。正しい手続きや現地のニーズの把握が大切です。



### 書籍「早わかり防災マニュアル」

日本出版制作センターから好評発売中!

- B6変形判・236頁
- 定価：本体1,650円(税込)

日本出版制作センターの書籍販売サイト  
もどうぞご利用ください!

<https://www.center-net.jp/sales>

### ボランティアの心構え

私も被災地にボランティアに行こうかな...

なにに「ボランティアの心得...」

「水や食料、宿泊場所は自分で確保する!」

「ボランティアセンターでボランティアの登録をする」「必ず現地受け入れ機関の指示に従い、注意事項を守る!」

「被災者の気持ちやプライバシーに配慮した行動を心がける!」「ボランティア保険に加入する!」

「現地の天候や周辺環境について情報を集め自分の安全は自分で守る!」

「ボランティアは現地の負担にならないことが大原則ですから...」

なるほど 善意があればなんとかなるんじゃないのね 準備も心構えも万全で行こう

### ボランティア保険

ところで「ボランティア保険」ってなに?

「ボランティア活動中にけがをした、させた、物をこぼした、食中毒になったときなどに支払われる保険です」

保険料は300~650円ほどで、補償期間はいつ加入しても4/1から翌年の3/31まで

申し込みは近くの社会福祉協議会やボランティアセンター等で行って下さい

うちの近くにあるのかわからない準備することがあるなあ

### 災害時に役に立つ仕事

将来は災害のときに役に立つ仕事をしたいな

消防士とか自衛隊とか?

直接人を助ける仕事でなくても

災害救助犬 トレーナー

避難用品をつくる

非常食をつくる

災害情報を伝える

救助ロボットの開発

被災した人のためにできる仕事はたくさんありますよ

前もって被害を防ぐ仕事、復興の手伝いをする仕事もあります

よく考えて自分に合った職業を目指してね!

どれも大切な仕事ね

### 寄付のしくみ

被災地に寄付したいけどテレビとかネット募金とか結局何が一番いいの?

お金を何に役立てたいかまずは支援金と義援金の違いを知りましょう

**義援金**は被災者に公平に分配されるお金です。救助活動費用などには使われません。被災者が受け取るまでに時間がかかるのが欠点です。

日本赤十字社や赤い羽根募金、テレビ、自治体が受け付けています

**支援金**はNPOやボランティア団体に寄付して救助や復旧に使ってもらおうお金です。細かい使いみちは団体が判断します。すぐに被災地で役立てられます。

### 賢く寄付しよう

災害の寄付金は控除を受けることができますよ

寄付金控除の対象となる団体に寄付した場合です

えっ税金が戻ってくるの?

領収書など証明するものが必要なので 年末まで大切にしておきましょう

ふるさと納税のしくみで自治体にも寄付できるのね

でも 募金詐欺もよく聞かしく、信用できる団体ってどうやって見分ければいいのか?

まずはホームページで活動報告や財務状況を公開しているかチェックしてみよう

寄付金の使いみちも見ておきたいですね

### 日本人とボランティア

日本の若者は諸外国と比べてボランティアへの関心が低い傾向にあります

どうしてかなあ日本の若い人は優しい人が多いと思うけどね

※「子供・若者白書(令和元年版)」内閣府

でも実は全世代でみるとみんなこんなにボランティアしてるんです!

ボランティア=若者のすることってイメージあつたけど年齢の人もけっこうしてるね

| 年齢     | 率(%) | 年齢     | 率(%) |
|--------|------|--------|------|
| 10~14歳 | 26.5 | 45~49歳 | 31.4 |
| 15~19歳 | 22.6 | 50~54歳 | 29.3 |
| 20~24歳 | 19.2 | 55~59歳 | 29.2 |
| 25~29歳 | 15.3 | 60~64歳 | 28.6 |
| 30~34歳 | 19.3 | 65~69歳 | 29.8 |
| 35~39歳 | 27.9 | 70~74歳 | 30.0 |
| 40~44歳 | 32.2 | 75歳以上  | 29.0 |

※「社会生活基本調査(平成28年)」総務省

ちなみに、ボランティア経験のある若者は社会問題を解決したいという意欲を持ってたり、外国留学をしたいと思う人の割合が多いようです

人生経験を積んでから社会貢献するのめいと思っよう

ボランティアをきっかけに社会に興味を持つのは喜ばしいね